

先生各位

No. 21-55
2021年10月

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。
このたび下記の検査項目につきまして受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。 謹白

記

● 新規受託開始日 2021年12月1日（水）受付分より

● 新規受託項目

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値
3564	組織因子経路インヒビター-2 (TFPI 2) 5D115-0000-023-023 *1	血清 0.3	121 *2	(分離後) 凍結	3~5	190 (生化Ⅱ) *3*4	FEIA	191未満 (pg/mL) (卵巣明細胞癌の 判別カットオフ値： 270未満 (pg/mL))

- *1： 妊婦では、TFPI 2が高値となることが確認されているため、妊婦検体の測定には適しません。
*2： 必ず指定容器にて採血してください。採血後、5~6回静かに転倒混和し、凝固完了を確認後、速やかに遠心機にかけ、そのまま凍結してご提出ください（採血管内での凝固反応が十分でない場合、TFPI 2が高値を示すことがあります）。
*3： 区分番号「D009」腫瘍マーカーの「23」CA602の所定点数を準用して算定できます。
*4： 区分番号「D009」腫瘍マーカーの注1および注2の規定に準じます。

121	TFPI 2専用容器
	容量 5mL
	貯蔵方法 室温
	有効期限 容器表示
	適用検査項目 TFPI 2

裏面に続く

< 組織因子経路インヒビター2 (TFPI 2) >

組織因子経路インヒビター2 (Tissue Factor Pathway Inhibitor 2: TFPI 2) は、2021年4月に新たに保険収載された卵巣癌の診断補助マーカーです。

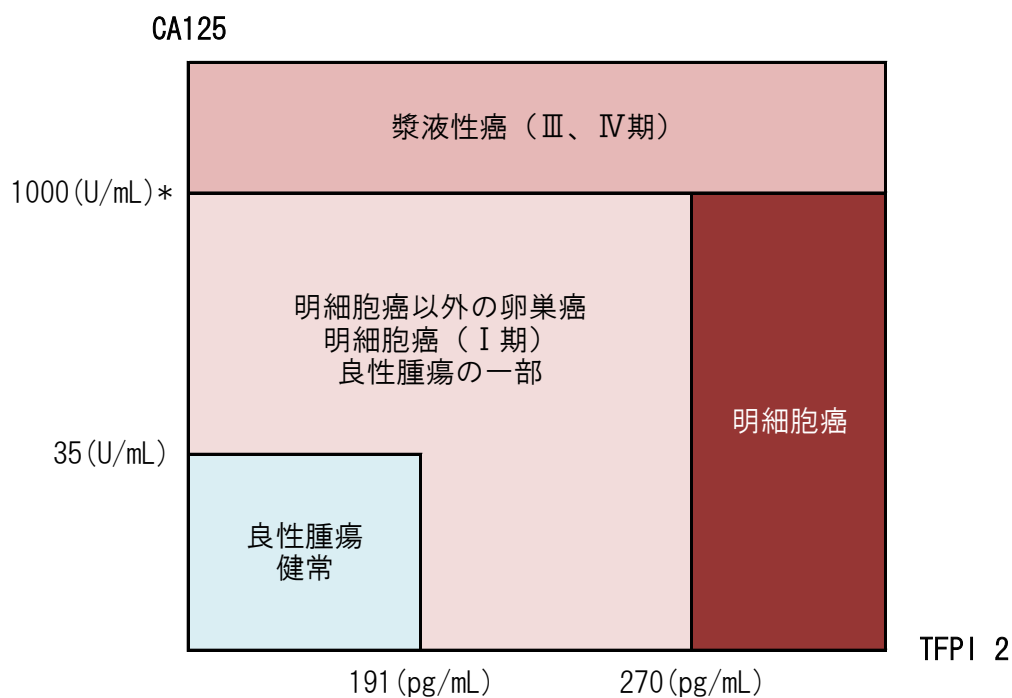
TFPI 2は胎盤タンパク質5 (PP5) として知られており、特に周産期の胎盤から強く分泌されるセリンプロテアーゼインヒビターです。卵巣癌が分泌するタンパク質の網羅解析から、卵巣癌に特異的なマーカーとして注目され、明細胞癌において特徴的に分泌されることが明らかになっています。

卵巣明細胞癌は卵巣癌の組織型のなかでも抗癌剤が効きにくく予後不良であり、子宮内膜症が発生源母地とされています。代表的な卵巣癌マーカーであるCA125は、卵巣明細胞癌では感度が低く、月経や腹膜炎、子宮内膜症を含む良性腫瘍でも上昇します。

TFPI 2は、健常人や良性腫瘍では上昇することの少ないマーカーです。CA125との相関も見受けられないことから、両マーカーは卵巣癌の検出において補完関係にあると考えられます。さらに、卵巣癌のなかでも明細胞癌で有意に高値を示します。

TFPI 2を術前に測定することにより、卵巣明細胞癌疑いの推定が可能となり、CA125などの既存の卵巣癌マーカーと組み合わせて評価することで、卵巣癌の診断性能が向上します。

なお、TFPI 2とCA125を合わせて評価することにより、以下の図に示すような卵巣腫瘍の分類が可能になると考えられます。



*漿液性癌Ⅲ～Ⅳ期の判別値としておりますが、他施設共同研究の試験結果から仮に設定した値です。
参考 Eテスト「TOSOH」Ⅱ (TFPI2)添付文書